

# 血液学

責任者：生江 麻代  
学年・学期：第1学年・前期

単位数：1単位(30時間)

## ◆一般目標(GIO)

血液学は恒常性を維持している血液についての基礎知識を理解することを目標とする。生体内での赤血球・白血球・血小板の役割や機能、止血のための凝固因子が生体の維持にどのように関わっているかを勉強する。

正常血液細胞の形態・生体内での働き、血液の凝固・線溶の機序についての概要を理解する。

検査法としては血球計数検査、血液形態検査、染色検査、溶血検査、凝固・線溶検査などがあり、病態の診断に欠かせない染色体・遺伝子検査、細胞表面マーカーなども勉強する。これらの検査については第二学年において詳細に行う。

## ◆到達目標(SBOs)

1. 正常血液細胞の成熟過程とその形態的特徴を学習する。
2. 異常血液細胞について形態と各種疾患の関連を把握する。
3. 赤血球のヘモグロビン、鉄代謝について学習する。
4. 貧血の分類と、各種血液疾患の概念、検査所見を把握する。
5. 白血球の細胞回転、機能について学習する。
6. 白血球の増減する疾患、白血病、白血球機能異常疾患について学習する。
8. 自動血球計数装置の概要を理解する。
9. 血小板、凝固・線溶因子、分子マーカーの基礎を理解する。
10. 止血に関して血小板や凝固・線溶因子の働きを学習する。
11. 血小板や凝固因子の異常による疾患を理解する。

## ◆学習方法

教科書を中心にプリントを用いて講義形式で行う。

## ◆評価方法

単元試験、定期試験で総合的評価を行う。

## ◆教科書

臨床検査学講座 『血液検査学』 奈良 信雄 他編 医歯薬出版(株)

## ◆参考書

血液細胞症例集	日本臨床衛生検査技師会発行
病気が見える血液	メディックメディア 発行
最新染色法のすべて	医歯薬出版株式会社
検査と技術 血液形態アトラス	医学書院発行

## ◆教員紹介

担当教員は検査センターでの勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項 目	講 義 内 容	担 当
1	赤血球系	血液の基礎・赤血球の産生	生 江
2	赤血球系	赤血球の形態	〃
3	赤血球系	赤血球の生化学	〃
4	赤血球系	赤血球系基準範囲/ 赤血球系疾患・形態異常	〃
5	赤血球系	赤血球系疾患・貧血	〃
6	白血球系	白血球の産生	〃
7	白血球系	白血球の形態・機能	〃
8	白血球系	白血球の形態異常・疾患	〃
9	白血球系	造血器腫瘍と遺伝子関連検査	〃
10	血小板	血小板の産生と機能・疾患	〃
11	血球算定	自動血球計数装置の概要	〃
12	凝固・線溶	凝固・線溶の機序	〃
13	凝固・線溶	分子マーカー	〃
14	疾患	凝固因子欠損症	〃
15	疾患	播種性血管内凝固症候群・血栓性疾患	〃